

在宅ケア研修

子どもとお母さんが 元気になる在宅ケア



～病院から地域に戻ってどう発達支援に繋げていくか～

新生児医療の発達により救われる命が増えた一方で、NICUを退院した子どもたちが、どうすれば「子どもらしく」成長していけるのか、そのための地域作りの重要性が指摘され続けています。退院後の在宅医療は医療そのものではなく、成長発達していくための手段の一つに過ぎません。NICUのある病院、保育園や幼稚園、ヘルパー事業所など、在宅医療を必要とする子どもに関わる皆様に、子どもの発達支援への関わり方を長年の経験と実践の中からお話いただきます。

講師：梶原厚子氏

◆プロフィール◆

株式会社なる代表取締役。訪問看護事業、福々研修研究事業、子ども等地域支援事業を展開中。
済生会宇都宮病院附属栃木県救命救急センター、独協医科大学越谷病院、愛媛大学医学部附属病院、愛媛県松山市訪問看護ステーションほのかで0歳～100歳までの訪問看護を展開し、その後、東京都、新松戸、京都などで、医療法人財団はるたか会の看護・リハの統括管理を経て現職。

◆参考図書◆



日時 2019年7月7日(日)

10:00～15:30

10:10～ 一部

- ・地域包括ケアシステムと其中での医療的ケア児
- ・赤ちゃんの成長と感覚

11:40～ 昼休憩

13:00～ 二部

- ・みんなの困りごとをみんなで考えよう

会場 秋田大学医学部医学系研究棟
総1講義室

〒010-8543 秋田市本道1丁目1-1

参加料

- ・NAOのたまご正会員
- ・賛助会員・学生 500円
- ・非会員 1,000円

★ 定員 100名、先着順となります。

★ お申し込みはホームページの専用メールフォームまたは、下記のメールアドレスまで「お名前 お電話番号 メール 所属および職種」をご記入の上ご連絡ください。託児をご希望の方、人数に限りがございます。お子さんのお名前、年齢、アレルギーの有無、その他配慮事項をご記入のうえ、7月1日までに申し込みください。

★ 参加費は当日受付にてお支払いください。

いま∞こ∞つながる

特定非営利活動法人 NAOのたまご

☎ 090-2633-3017(代表:佐々)

✉ naonotamago@gmail.com

※NAOとは・・・

Network to Advance Open Society for Children with Disabilitiesを意味します。誰もが自分の人生を「生ききる」ことが出来るように、沢山の有機的な繋がりを創りたいという願いが込められています。



NAOのたまご

